

整理番号	科目名	学期	配当年次・単位	担当教員
102	政治学演習α(飯島昇藏)	通年	3年以上：4単位	飯島 昇藏 政政・経演・国演

副題 リベラリズムとは何か？

講義概要

リベラリズム(自由主義)は、その他の政治的語彙、なかんずく、さまざまな-ismのなかでも、最も論争的な概念の一つであるといえる。リベラリズムをめぐる、たとえば、次のような問題群がたちあられる。リベラリズムとは何かを理解するためにはどうするのが最も良いのであろうか。リベラリズムはそれ自身で最も良く理解できるのであろうか。それとも、それは、その他の主義、たとえば民主主義や社会主義やファシズムなどとの比較のなかで最も良く理解されるのであろうか。リベラリズムは近代や現代の独占物であらうか。それとも、リベラリズムは古代や中世にも存在したのであろうか。存在したと言えらば、それらはどのような実体を持ち、どのようなあられ方をしたのであろうか。あるいは、近代的リベラリズムの創始者とはだれであらうか。

この演習では、リベラリズムとは何かという問いに、レオ・シュトラウスの『リベラリズム 古代と近代』の講読を通じて、接近する。リベラル・デモクラシーの友を自認したシュトラウス自身は政治的な保守主義者であったが、かれの古典研究を通して、リベラリズムに阿らない、リベラリズム理解が得られるかもしれない。

**シラバス
(授業計画)**

第1回：リベラリズム 古代と近代』の「序文」
 第2回：第1章“What Is Liberal Education”の講読と討論
 第3回：第2章“Liberalism and Responsibility”の講読と討論
 第4回：第3章“The Liberalism of the Classical Political Philosophy”の講読と討論(1)
 第5回：第3章“The Liberalism of the Classical Political Philosophy”の講読と討論(2)
 第6回：第4章「『ミノス』について」の講読と討論
 第7回：第5章「ルクレティウスについての覚え書き」の講読と討論(1)
 第8回：第5章「ルクレティウスについての覚え書き」の講読と討論(2)
 第9回：第5章「ルクレティウスについての覚え書き」の講読と討論(3)
 第10回：第5章「ルクレティウスについての覚え書き」の講読と討論(4)
 第11回：第6章「いかにして『迷える者の手引き』の研究をはじめるか」の講読と討論(1)
 第12回：第6章「いかにして『迷える者の手引き』の研究をはじめるか」の講読と討論(2)
 第13回：第7章「パドゥアのマルシリウス」の講読と討論
 第14回：第8章「エピローグ」の講読と討論
 第15回：第9章「『スピノザの宗教批判』への序言」の講読と討論(1)
 第16回：第9章「『スピノザの宗教批判』への序言」の講読と討論(2)
 第17回：第10章「善き社会に関する諸々のパースペクティヴ」の講読と討論
 第18回～第30回
 第18回から第30回までは、演習参加者各人の研究報告と議論を予定している。
 また、シュトラウスのその他の著作の講読も考慮している。
 夏合宿(2泊3日)での集中演習も予定している。

教科書

石崎嘉彦・飯島昇藏ほか訳『リベラリズム 古代と近代』(ナカニシヤ出版、2006年)ほか

参考文献

添谷育志・谷喬夫・飯島昇藏訳、レオ・シュトラウス著『ホッブズの政治学』(みすず書房、1990年)
 石崎嘉彦・飯島昇藏ほか訳、レオ・シュトラウス著『僭主政治について』(上)(下)(現代思潮新社、2006年、2007年)

評価方法

ゼミへの出席、ゼミでの報告(準備を含む)、ディスカッションへの貢献度、ゼミ論文

関連URL

備考